



市議会だより

ひらかわ



令和にかがやく 平川市のたからもの

平川市立碓ヶ関小学校のみなさん



学校の先生より

中学校と一緒にになった新しい校舎で、「進んで学習する子 思いやりのある子をきたえる子 地域を大好きな子」の学校教育目標に向かって保護者や地域の皆様のご協力のもと学習活動を行っています。三笠っ子56名は、学習も行事も遊びも、やる気いっぱい、笑顔いっぱい、元気いっぱいに取り組んでいます。

令和4年
9月定例会

第68号

令和4年(2022年)
12月15日発行

令和4年
9月定例会 (9/2~9/21...20日間)

[本会議] 9月2日・21日...議案審議
9月6日・7日・8日...一般質問

[常任委員会]
9月12日 総務企画・建設経済・教育民生

[決算特別委員会]
9月14日・15日・16日

Contents 主な内容

- 令和3年度決算審査 2
- 一般質問 6
- 議会の動き 12
- 議決結果 13
- 議員研修に行ってきました 14



尾上庁舎の利活用

原田 淳 議員

- ①尾上庁舎利活用に係る共同研究の会議の開催状況は。
- ②共同研究の成果は。



答 弁

- ①令和元年度は6回、令和2年度は5回、令和3年度は8回開催している。
- ②これまでの会議で、尾上庁舎の利活用方法の指針となる基本ポリシーとコンセプトを決定した。令和4年度から市民参加による検討を開始し、様々なワークショップを開いていく予定である。



令和4年7月に行われたワークショップの様子

移住支援

山谷洋朗 議員

- ①移住支援員の業務内容と配置人数は。



工藤竹雄 議員

- ②お試し移住・交流ツアーの内容と実績は。



答 弁

- ①移住相談対応や関係人口の創出拡大、お試し移住などの業務を行っており、令和3年度は1名配置している。
- ②移住を考えている方の希望に沿ってプログラムを組み立てるオーダーメイド型でのツアーを予定しており、希望者から問い合わせを頂いていたが、まん延防止等重点措置が適用されたこともあり、令和3年度は実施には至らず、事業の周知のみ行った。

空き家対策

石田隆芳 議員

- ①平川市の地域別の空き家の数は。
- ②空家等解体撤去補助金を用いて実際に空き家を解体した件数は。



福士 稔 議員

- ③空家等相続人特定事業の内容は。
- ④令和3年度の実績は。



答 弁

- ①平賀地域で193件、尾上地域で75件、碓ヶ関地域で129件の合計397件。
- ②令和3年度は7件で、事業開始した平成30年から累計で44件の空き家が解体されている。
- ③市が確認している空き家の中で、相続関係が複雑で相続関係人を特定するのに司法書士等の判断が必要となる案件について委託したもの。
- ④建物8件、土地2件について調査し、合計108名の相続関係人を特定した。

防災無線

佐藤 保 議員

- ①防災無線施設保守点検業務委託料の内容は。
- ②気象条件などによって無線の音が聞こえない場合の対応はどうしているか。



答 弁

- ①防災無線機器の正常な機能の維持や障害発生の未然防止のため、防災無線の親局や中継局などの各種設備の点検を委託するもの。
- ②防災無線の放送内容を電話で確認できるテレガイドサービスや防災メール、SNSなどの情報伝達手段を用意している。



柏木町町会に設置されている防災無線

令和3年度決算審査となる決算特別委員会は、9月14日・15日・16日の3日間開催されました。審査に先立ち、委員長に工藤貴弘議員、副委員長に山谷洋朗議員が選任されています。

私たちのお金はどくなつた？ 令和3年度の収入・支出を一斉チェック！



教 育

学校生活支援

中畑一二美 議員

- ①日本語指導支援員事業の内容と実績は。
- ②水泳教室指導委託料の内容と実績は。



答 弁

- ①日本語の理解習得に教育的支援を要する外国人の児童生徒に対し、教室内で授業の通訳を行ったり、放課後に日本語の基礎指導を行ったりなどの支援を行うもの。令和3年度は弘前大学教育学部内に設立された多文化リソースルームに委託し、2人の子どもたちに支援を行っている。
- ②自校にプール設備のない市内の7つの小学校において、平賀温水プールを利用して水泳授業を行う際に、授業中の安全確保と指導の充実のため水泳の指導員を配置するもの。平川市スポーツ協会に委託し、令和3年度は延べ264人の指導員が指導を行った。

要保護・準要保護児童生徒への支援

齋藤律子 議員

要保護・準要保護児童援助費の内容と支給実績は。



答 弁

新入学学用品費や通学用品費、修学旅行費、校外活動費等として、小学校では対象児童141名に対し総額約405万円、中学校では対象生徒81名に対し総額約429万円を支給した。



学校生活の便宜を図り、福祉の増進を目的とします

中弘南へき地・複式教育研究会

工藤竹雄 議員

中弘南へき地・複式教育研究会負担金の内容は。



答 弁

中弘南地区のへき地及び複式学級を有する小中学校（弘前市7校、平川市1校の計8校）で構成されている研究会に対する負担金として、令和3年度に1万6,000円を支払ったもの。各校の先生たちが集まり、複式学級の授業の進め方などを勉強し合っている。

陸上競技場公認更新改修工事

中畑一二美 議員

- ①陸上競技場の公認更新の間隔は。

齋藤律子 議員

- ②改修工事の内容は。

葛西勇人 議員

- ③約1,100万円の費用を負担し続けて公認を取得する理由は。



答 弁

- ①公認期間は5年ごとの更新。令和3年度に改修工事をして新たに公認を取得したことにより、新たな公認期間は令和3年12月1日から令和8年11月30日までの5年間となっている。
- ②ルール改正に合わせ、走り幅跳びの助走路の変更、高跳びのウレタン舗装の拡張、ラインマーキングの修正や表示タイトルの撤去新設などを行った。また、今回の公認取得には円盤・ハンマー投げの種目が不要となったことから、円盤・ハンマー投げのサークルの撤去も行っている。
- ③公認のない競技場では記録を認定できず、県大会等で不利になる可能性もある。陸上競技協会からも強い要望があるため、公認の取得は必要であると考えている。公認料自体は5年で36万円のため、今回の改修工事は付随する公認のシステムが変わったことによるもので、5年ごとに必ず多額の改修工事費用が必要になるものではない。



平川市陸上競技場



産業・観光

鳥獣被害対策

桑田公憲 議員

- ①鳥獣被害防止対策実施隊報酬の内容は。
- ②令和2年度に委託で行った鳥獣生息域調査の結果を踏まえ、市ではどのような事業を行ったのか。



答 弁

- ①わなの見回りや保護活動に対する市の鳥獣被害防止対策実施隊への活動報酬として、26名の方に支給しているもの。令和3年度は活動時間の合計が810時間、時間単価が1,000円で、計81万円を支給した。
- ②令和2年度は、沖館地区でイノシシの出没報告があったことから、市職員がやり方を習うために業者に委託し、ドローンによる鳥獣生息域調査を行った。令和3年度からは市でドローンを購入し、職員による調査を継続している。



令和2年度に沖館地区でセンサーカメラに映りこんだイノシシ

十和田湖国立公園協会

齋藤 剛 議員

- ①十和田湖国立公園協会負担金の内容は。
- ②各会員から集められた負担金はどのような目的で使われているのか。



答 弁

- ①十和田湖国立公園協会は青森県、秋田県、十和田湖に隣接する市町村やそれに関連する旅館組合など61の会員から構成される組織で、年間5,600万円ほどの事業費がかかっている。その事業費を各会員が負担しているもので、平川市では36万2,000円を負担金として支出している。
- ②十和田湖周辺で排出されるごみの収集業務やトイレの清掃、除雪、ヒメマスブランドの推進や湖の水辺環境の改善などを行っている。

農業振興

工藤竹雄 議員

- ①スマート農業導入支援事業補助金の実績は。



大澤敏彦 議員

- ②ふるさと農業応援事業補助金の事業別の実績は。



答 弁

- ①農業用ドローン購入に対する補助として、水稻連加入の1生産組合に対し約87万円、ドローン操作のための技能認定の受講料に対する補助として14名に合計126万円を支給した。ロボット草刈り機やアシストスーツなどの購入費用に対する補助もあるが、令和3年度では利用実績はない。
- ②苗木購入に対する補助として66人に合計119万2,200円、防風ネット張替えに対する補助として7人に合計94万円、簡易トイレに関する補助として2人に合計20万円、作業場整備に関わる補助として11人に合計109万2,000円を支給した。

ねぶた運行団体への補助

石田隆芳 議員

- ①ねぶた運行団体継続支援金の実績は。
- ②諸事情によりねぶたを運行できなかったり、展示だけとなった団体にはどのような支援を行ったのか。



答 弁

- ①平川市内のねぶた団体33団体のうち、申請のあった30団体に合計約644万円の支援金を交付した。
- ②ねぶたを運行できなかったり、村回りや披露のみとなった団体についても各15万円の支援金を交付している。



平川ねぶたまつり2022の様子



山谷洋朗 副委員長

決算特別委員会の録画映像は、youtubeにてご覧いただけます。

平川市議会youtubeチャンネルはこちら



令和3年度の歳入・歳出が適正であったかどうか、全議員で慎重に審議・討論しました。



工藤貴弘 委員長



福祉・医療

コロナワクチン

中畑一二美 議員

新型コロナウイルスワクチン接種の実績は。



答 弁

令和4年9月2日時点で、2回目までの接種を終えた方の割合が88.4%、3回目までの接種を終えた方が86.2%、4回目までの接種を終えた方は53.4%となっている。



自立支援

長内秀樹 議員

- ①就労準備支援事業の内容と実績は。
- ②家計改善支援事業の実績は。



答 弁

- ①利用者の状況に応じて、就労支援プログラムを作成して半年から1年の長期間にわたり就労等の基礎能力の形成を支援するもので、令和3年度は新規相談受付が3件あり、2名が利用を開始している。
- ②令和3年度の新規の相談受付は21名で、そのうち10名の方が利用を開始している。

認知症賠償責任保障

長内秀樹 議員

- ①認知症賠償責任補償事業の内容は。
- ②実績は。



答 弁

- ①認知症やその疑いのある高齢者が第三者に損害を与えてしまった場合、その損害を補償する賠償責任保険（上限1億円）に、市が1人当たり2,200円の保証料を負担し加入するもの。
- ②認知症高齢者徘徊見守りカードの申請時などに加入いただいております。令和3年度末で20名が加入している。

産前産後支援

齋藤律子 議員

産前産後支援事業の内容とそれぞれの実績は。



答 弁

産前産後支援事業は4つの事業があり、いずれも一般社団法人青森県助産師会に委託して実施している。令和3年度の実績は、母乳ケア事業については令和3年度で20回開催し68人、ぷれmamaのお産教室は10回開催し30人、産後mamaの子育て教室は10回開催し39人、パパママ教室は2回開催し33人の方々に参加いただいた。

このような審査を経て、平川市議会は

令和3年度決算を認定しました。

次のページは

10人が聞いた一般質問

災害対策／横断歩道の設置
マイナンバーカード交付推進

災害対策

多様なニーズに対応
できる避難所運営を

くどうたかひろ
工藤貴弘 議員



議員 避難所運営に関わる各組織等の男女比率は適正か。また、是正のための対応は。

答 平川市防災会議や自主防災組織等、最大で10パーセントが女性の方となっております。災害時は課を越えて女性職員に協力いただき、連携を図りながら対応しています。

議員 避難所運営に関わる女性人材の育成のため

の市の取り組みは。

答 自主防災組織の構成員を対象とした防災士育成事業や様々な各種研修会等を行っています。

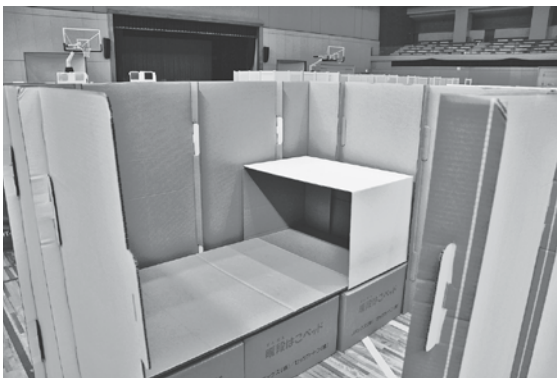
議員 女性が安全、快適な避難所生活を送るため、プライバシーの確保、物資の供給体制、性犯罪の防止といった避難所の環境整備が最低限不可欠であるが、様々な女性のニーズに対し、市はどの

ように配慮していくのか。

答 更衣室用の室内テナントの配備、授乳室を設置するなど、安全・安心に配慮した避難所運営を行っています。

議員 ペットを対象とした避難訓練など啓発活動は行っているか。

答 実施していませんが、周知に向けて取り組んでいきます。



避難所で設置された段ボールベッド。

平川市の今とこれから

一般質問



今回は**10名**の議員が質問しました

平川市のいろいろな課題等について、議員が市に考えを聞くのが**一般質問**。全質問項目は下表のとおりです。議会だよりでは、質問した議員ごとに1項目を抜粋・要約してお知らせします。

詳細は平川市議会
会議録へ



区分	質問事項	質問議員	ページ
市の姿勢・まちづくり	原油価格・物価高騰対策	工藤 貴弘	
	指定管理施設事業継続支援金	葛西 勇人	
	マイナンバーカード交付推進	葛西 勇人	P.7
	地方創生臨時交付金の使途	工藤 竹雄	P.8
	8月大雨による農業被害	長内 秀樹	
	ご当地ナンバー	長内 秀樹	
	次世代自動車の普及促進	長内 秀樹	P.9
	当市水源の浅瀬石川ダム	齋藤 剛	P.9
	児童等送迎車運行モデル事業	齋藤 律子	P.10
	財政	齋藤 律子	
教育・福祉・医療	街の住みこころランキング	石田 隆芳	
	初心者向けスマホ教室	中畑一二美	
	男性トイレのサニタリーボックス設置	工藤 貴弘	
	高齢者の帯状疱疹ワクチン接種	長内 秀樹	
	子育て支援	齋藤 律子	
	小学校教員の働き方改革	中畑一二美	P.11
	ヤングケアラー	中畑一二美	
安心・安全	当市の郷土芸能	石田 隆芳	P.9
	災害対策	工藤 貴弘	P.6
	通学路の整備	原田 淳	
	通学路の安全対策	原田 淳	
	通学路の速度制限	原田 淳	
	通学路のカラー舗装	原田 淳	
	横断歩道の設置	原田 淳	P.7
	8月の大雨災害	佐藤 保	
	自主防災組織との連携	佐藤 保	
	非常災害時の議員の役割	佐藤 保	P.8
防災・減災	中畑一二美		



マイナンバーカード 交付推進



交付率の向上のために

葛西 勇人 議員

議員 当市のマイナンバーカードの交付率は、
答 8月28日時点の速報値で約45.2%です。
議員 令和4年第2回定例会で、交付率向上のため、マイナンバーカードに公金受取口座を登録した方に独自で5千円を追加給付してどうかと提案したが、市ではどう検討したか。
答 マイナンバーカード

に登録された公金受取口座の情報は、交付推進のため市独自に利用できるものではなく、対象者の把握も困難であることから、追加給付する考えはありません。
議員 追加給付は物価高騰対策にもつながるものである。他自治体では、商品券や電子マネーなどで追加給付を行い、交付率を大きく向上させたところもあるが、当市でもそういった形で給付する考えはないか。
答 商品券などを交付して当市の交付率を大きく向上させることは難しいと考えます。当市としては、市民の方々にカードの必要性と利便性を十分理解してもらった上で交付率を向上させるため、引き続き出張申請などの取り組みを行います。

市内の事業所、企業等を対象とした出張申請も受け付けております。



市内の事業所、企業等を対象とした出張申請も受け付けております。

横断歩道の設置



大変危険な通学路となっています

原田 淳 議員

議員 沖館町会から竹館小学校へ向かうと高速道路の高架橋がある見通しの悪い交差点がある。新館町会の子どもたちも通学に使用していることから、子どもたちの安全を守るためにも横断歩道の設置が必要では。
答 現場確認し、警察との協議を進めています。が複雑な形状の交差点であること、高速道路の高架

橋が近いことから、設置位置の決定が難しいとのことでした。改めて横断歩道の設置に向けた準備を進めます。
議員 以前、荒田町会では小学生の通学のため、市道尾上小和森線に横断歩道の設置を要望した。市職員が黒石警察署と協議したが、近くの信号機まで行くことを提案されたとのことであった。車

の往来が多く、幅員が狭いことから危険な路線であり、いま一度、交渉していただきたい。
答 要望箇所は、直近の横断歩道との距離が120メートルと近く、設置基準を満たさないと判断されていますが、交通量の多い道路を信号機まで歩かせる状況を鑑み、引き続き粘り強く要望を重ねたいと考えています。



小学生を目視できない、見通しの悪い交差点です。



一般質問の全文は平川市ホームページで読むことができます。
インターネットで「平川市議会 会議録」と検索するか下記のQRコードをご利用ください。

平川市議会
会議録



非常災害時の議員の役割



災害時にも
機能停止しないために

佐藤 保 議員

議員 当市の地域防災計画には議員の役割について記載されていないが、その理由を伺う。

答 災害時の地方議会の役割や在り方は、地方自治法や災害対策基本法などにも記載がないことから、当市を含めほとんどの地域防災計画等に記載がありません。しかし、東日本大震災を契機に、災害時の地方議会の役割

について議論が起きており、今後、非常災害時の議会との連携の動きは進んでいくものと考えます。

議員 災害時、現場に近いのは議員である。市では、議員にどのような役割を期待しているか。
答 被災情報を把握し執行部に伝達することや、復旧・復興に向けて情報収集と政策提案に向けた検討を進め、市民の要望

等を執行部へ届けていたことが、議員の重要な役割であると認識しています。

議員 9月2日に可決された平川市議会基本条例第30条で、議会の危機管理及び業務継続体制の整備と強化について定めている。非常災害時に行政や議会が機能停止しないよう、協力していかねばならない。



非常災害時には各機関の連携が求められます。

地方創生臨時交付金の使途



全世帯一律に
商品券の配布を

工藤竹雄 議員

議員 令和4年度の地方創生臨時交付金が増額される見込みとの報道がある。市では、この財源でどのような支援策を考えているか伺う。
答 地方創生臨時交付金の増額幅等については、9月7日時点でまだ通達が出ていないため、正式な情報が見えていないから事業を検討してまいります。市民の生活支援策として

は、国の住民税非課税世帯への給付金と合わせ、新たなプレミアム商品券発行事業を行い、生活支援と地域経済活性化を行っていく予定です。
議員 プレミアム商品券は、原資のない人はあまり買えない。市民の生活を守るには、全世帯一律で商品券を配布すべきではないかと考えるが、市の見解は。

答 プレミアム商品券には購入冊数制限があり、原資があるからといって多く買えるものではありません。国等による非課税世帯向けの支援金を商品券の購入に充てるなどすれば、低所得者の方々も使うことができ、プレミアム商品券の発行は市民にも事業者にも公平な支援の形であると考えています。ご理解願います。



令和4年ひらかわ得トク商品券。
(現在は販売・使用期間終了)

議会miniコラム 西十和田トンネル

西十和田トンネル（仮称）の早期着工を訴えるため、10月24日に青森県庁、10月25日に秋田県庁を訪問し、意見要望活動を実施しました。



当市水源の 浅瀬石川ダム



しゅんせつ工事が必要では

さいとう たけし
齋藤 剛 議員

議員 浅瀬石川ダムは、津軽地方42万人の飲料水や干害や大水害を防ぐことを目的としている。8月の大雨により、ダムそのものに土砂や流木が堆積している状況が見られることから、ダムの機能確保、水質悪化の懸念から、しゅんせつ工事が必要と考えるが、市の見解は。

答 岩木川ダム統合管理事務所から、浅瀬石川ダムは100年間の堆積する土砂を見込んで貯水量を決定し建設されたもので、毎年の堆積土砂の測量の状況から、現時点では貯水量に影響を及ぼさないことが確認されているため、しゅんせつ工事の予定はないと聞いています。水質管理においては、津軽広域水道企業団で濁度に応じた薬品

注入を行っており、水質の心配はありません。
議員 昨今は100年に一度の雨が2回降るなどの気候が続ぎ、散水攪拌機の不良などにより、異臭騒ぎにもつながりうるのではないかと懸念される。市長は津軽広域水道企業団の副企業長でもあることから、飲料水の品質保全のためにも、引き続き尽力していただきたい。



8月の大雨でダム内に流れ込んだ大量の土砂や流木。

次世代自動車の 普及促進



環境に配慮した
自動車の普及を

おさないひでき
長内秀樹 議員

議員 地球温暖化対策のため、電気自動車など環境に配慮した次世代自動車の普及拡大は重要であると考えますが、市ではどのような取り組みをしていくのか伺う。

答 次世代自動車の導入に当たっては現在、国の補助制度が活用できる状況であり、市では、広報紙や市ホームページでその補助制度について市民へ広く周知し、普及啓発に取り組んでまいります。
議員 現在市内に設置されている電気自動車の充電スタンドは、道の駅いかりがせきの1か所のみと聞いている。国等の補助事業が充実している今こそ、設置を拡大していくべきではないかと思うが、市の見解は。

答 10月開庁の新本庁舎には、普通充電の電気スタンドが1台設置される予定です。今後は県の策定した青森県次世代自動車充電インフラ整備ビジョンを踏まえ、適切な配置箇所等について検討していきます。
議員 普通充電では満タンまで7時間ほどかかる可能であれば、30分で充電可能な急速充電のスタンドの設置を進めてもらいたい。



道の駅いかりがせきに設置されている電気自動車の充電スタンド。

議会miniコラム 全国市議会議長会研究フォーラムin長野

10月19日から20日に開催された全国市議会議長会研究フォーラムin長野に桑田議長が出席しました。



本会議は中継のほか録画配信をしています。
スマートフォン等で下記のQRコードを読み込むと視聴できます。

平川市議会
YouTubeチャンネル



児童等送迎車運行 モデル事業

事故が心配です

さいとうりつこ
齋藤律子 議員



議員 令和4年12月から翌年3月まで、冬期間の通学が困難な尾上中学校学区の南山・蒲田・日沼地区と松崎小学校学区の6町会（西地区）について、送迎車の運転を地域住民が行うというモデル事業を市は予定しているが、実施理由を伺う。

答 以前よりスクールバスの運行の要望がありましたが、当市では、学校の

の統廃合を契機とするため、実現に至っておりません。しかし、解決策を探った結果、地域の共助の仕組みを活用し、コミュニティ意識の醸成も期待できることから、今回モデル事業として試験的に実施するものです。

議員 運転員を地域住民から選出することについて、不安の声が上がっている。第二種免許保持者

を公募してはどうか。

答 第二種免許は有償で旅客輸送するために必要な免許であり、今回は無償のため第一種免許のみで問題がないことを運輸局に確認済みです。しかし、子どもたちの安全は一番に考えなければならぬため、運転される方には講習会等を受けていただき、安全を確保したいと考えております。



子どもたちの送迎のため、さらなる安全運転が求められます。

当市の郷土芸能

伝統文化の
保存継承のために

いし たかよし
石田隆芳 議員



議員 当市には無形文化財に指定された郷土芸能の団体が計16団体あるが、少子化などにより、若手への継承が難しくなっている。郷土芸能の保存継承について、市の考えを問う。

答 郷土芸能は、地域の文化を体現し、コミュニティの担い手育成にも係る大切なものであると認識しており、市では、平

川市無形文化財等保存継承事業補助金の支給や、映像による記録保存、ひらかわ郷土芸能発表会の開催などで支援に努めているところですが、

議員 伝統芸能を次世代に引き継ぐためには、学校教育の一環として、地域で活躍している方々を講師に迎えて伝統文化に触れあう機会を作るなどの取り組みが必要と考え

るが、市の見解は。

答 郷土芸能の授業への導入は各校の判断となり、市として一律に取り組みさせることは難しいと考えますが、社会科の副読本に当市の郷土芸能について記載するほか、学校訪問において郷土への愛着と誇りをかん養する教育の推進を指導することで、郷土芸能の指導と育成を継続させてまいります。



令和4年度のひらかわ郷土芸能発表会。

研修に参加しました

青森県市議会議員研修会

10月5日 平川市

10月5日に青森県市議会議長会による研修会が平川市文化センターで行われました。県内10市の市議会議員が集まり、早稲田大学マニフェスト研究所の長内紳悟氏を講師に迎え「議会が果たすべき役割～議事機関と立法機関の意義～」をテーマとした講演が行われました。



議会あれこれ

引っ越し!

新議場は本庁舎4階です

10月11日の新本庁舎の開庁に伴い、平川市議場も移動となりました。

今後の議会は、新本庁舎4階で行われます。



小学校教員の働き方改革



早急な是正が必要です

なかはた ひふみ 議員
中畑一二美

議員 平川市スポーツ協会では、試験的に市内小学校の体育授業に体操の指導員を派遣して、器械運動で担任の指導を補助する事業をボランティアで行い、好評を得ている。小学校の先生の中には年齢的にも器械運動を苦手とする方もいて、実際に鉄棒の授業を見学してみても、専門の指導員の必要性を実感した。教員の働

き方改革のためにも、今後もこの事業を継続し、令和5年度から市の事業として予算化できないか。
答 器械運動に限らず様々な教科があるため、特定の授業への支援は難しく、学習支援員やタブレット端末等を活用したいと考えます。教員の長時間労働是正のため、来年度には校務システムの導入を予定しております。

議員 部活動は教員の負担になっていると考えるが、当市の現状は。
答 部活動は教育課程外の業務であり、働き方改革のため見直しを進めております。当市の小学校で部活動があるのは2校のみで、指導者の確保が難しいことから、学校では地域のスポーツ少年団やクラブチームへの参加を案内しております。



礎ヶ関陸上クラブ活動の様子



議会改革特別委員会委員

(後列左から) 工藤貴弘委員、山谷洋朗委員、中畑一二美委員、長内秀樹委員
(前列左から) 葛西勇人副委員長、佐藤保委員長

平川市議会基本条例とは？

議会の組織や運営方針などの基本的な事項を条例として定めたもの。市民に開かれた信頼される議会、市民とともに歩む議会を目指します。



今後の議会改革は？

議会改革基本条例は条項に基づき、議会運営委員会において検証されます。また、今後の議会改革特別委員会では災害時等においても議会機能を停止せず、危機を最小に留めるために平川市議会災害対策マニュアルを策定中であり、さらなる議会改革に努めてまいります。

令和4年8月17日の議長へ条例(案)の答申を経て、令和4年9月の定例会において可決され、平川市議会基本条例は令和4年10月1日に施行となりました。



平川市議会基本条例
ページはこちら

平川市議会基本条例の施行！

**意見書
提出**

農業者の営農継続に関する意見書

生産資材価格の高騰や8月の大雨災害により、生産現場での営農継続が危ぶまれていることから、大澤敏彦議員、長内秀樹議員を紹介議員として「農業者の営農継続に関する請願書」が提出され、本議会で採択されました。それを受け、石田隆芳建設経済常任委員会委員長から議員提出議案として、農業者の営農継続に関する意見書が提出され、全会一致で可決されました。

意見書は、内閣総理大臣をはじめ農林水産大臣や衆参両院議長、青森県知事宛に提出されました。

農業者への支援を強く要望します！



長内秀樹議員



大澤敏彦議員



石田隆芳議員
(建設経済常任委員会委員長)



桑田公憲議長

令和4年9月定例会 審議議案等とその結果（抜粋）

平川市議会会議録



各議案の詳細はこちら

上程された議案	結果
9月定例会	
条例の制定	
平川市議会基本条例案	可決
条例の一部改正	
平川市議会議員及び平川市長の選挙における選挙運動用自動車の使用の公営に関する条例等の一部を改正する条例案	可決
平川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	可決
平川市税条例等の一部を改正する条例案	可決
平川市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例案	可決
平川市地域福祉センター条例の一部を改正する条例案	可決
条例の廃止	
平川市健康センター条例を廃止する条例案	可決
令和4年度補正予算	
一般会計（2件）	可決
国民健康保険特別会計	可決
介護保険特別会計	可決
国民健康保険診療施設事業診療所特別会計	可決
学校給食センター特別会計	可決
水道事業会計	可決
下水道事業会計	可決
各財産区一般会計（尾崎、吹上・高畑）	可決
その他	
人権擁護委員候補者の推薦について	同意
東部辺地総合整備計画の変更について	可決
久吉辺地総合整備計画の変更について	可決
議員の派遣について（3件）	可決
工事の請負契約について（2件）	可決
西和田トンネル（仮称）の早期建設を求める意見書の提出について	可決 <small>📄 関連記事 P8下段</small>
農業者の営農継続に関する請願書	採択
農業者の営農継続に係る意見書の提出について	可決 <small>📄 関連記事 P12</small>
令和3年度決算	
一般会計	認定 (起立採決)
国民健康保険特別会計	認定 (起立採決)
介護保険特別会計	認定 (起立採決)
後期高齢者医療特別会計	認定
国民健康保険診療施設事業診療所特別会計	認定
学校給食センター特別会計	認定
尾上地区住宅団地温泉事業特別会計	認定
簡易水道特別会計	認定
水道事業会計（未処分利益剰余金の処分及び決算認定）	可決・認定
下水道事業会計	認定
各財産区一般会計（尾崎、新屋、町居、広船、小和森、大坊、岩館、柏木町、大字大光寺、平田森、新尾崎、新館、沖館、葛川、吹上・高畑、原田、碓ヶ関、小杉・四ツ屋・石畑）	認定

議員研修に 行ってきました

市議会では、よりよい議会運営の実現に向け、先進地事例を学ぶため視察研修を行っています。
市政の重要課題について分析や理解を深め、執行機関の監視機能の強化を図るため研修した内容を報告します。

歴史を生かした観光、鳥獣被害対策、西南暖地におけるりんご栽培、青森りんご販売・流通

●参加議員／工藤貴弘議員、工藤秀一議員、福士 稔議員、長内秀樹議員、佐藤 保議員、山田忠利議員、桑田公憲議員

9月25日から28日にかけて、山口県と福岡県で実施しました。

萩市の歴史を生かした観光については、観光は地域外のお金を稼ぎ、地域の雇用を支える一面もあることを研修しました。

山口市の西南暖地におけるりんご栽培については、観光産業と結びつけることでりんご産業の充実度を高めることを研修しました。

下関市のジビエ有効活用促進事業については、市単独での事業展開の難しさ、近隣市町村との連携した運営が必要であると研修しました。

福岡市の青森りんご販売、流通については、海外輸出するための残留農薬調査、鮮度保持方法、市場で求められるのは食味であることを研修し、意見交換しました。



山口県萩市（萩市観光協会）



福岡県福岡市（㈱福岡大同青果）

防災の取り組み、少子化対策、まちの産業発見塾、果樹振興による賑わい創出、産後うつ対策、空き家対策

●参加議員／葛西勇人議員、石田隆芳議員、大澤敏彦議員、齋藤 剛議員、齋藤律子議員

10月17日から20日にかけて、新潟県、長野県、群馬県で実施しました。

小千谷市では、中越大地震の経験から、事前対策を徹底しつつも、想定外の事態を常に意識しておくことが重要であるということを研修しました。

十日町市では、若者世代や女性、子育て世代の移住定住のための様々な取り組みや、地元への愛着を深めるキャリア教育について研修しました。

須坂市では、フルーツ発泡酒という新しい製品の開発によって6次産業を活性化させる取り組みについて学び、また、産後うつ対策について、病院や関係機関と密に連携して支援を行うことが効果的であることを研修しました。

高崎市の空き家対策については、市単独事業で空き家の管理、解体、活用を支援することで、地域活性化にもつながることを研修しました。



新潟県小千谷市（おがや震災ミュージアムそなえ館）



新潟県十日町市（十日町市役所）

新潟県小千谷市・十日町市、長野県須坂市、群馬県高崎市

編集後記

木枯らし寒く冬待つ時季となりました。今年一年を振り返れば、新型コロナウイルス感染症、8月の大雨被害、公共料金や生活用品の物価高、さらにはインフルエンザの流行の兆し等々、不安いっぱい1年と思うのは私だけでしょうか。駆け足でやってくる冬将軍に備え万全で過ごしたいものです。来年こそは粘り強く冷静に判断し、一人一人の努力でこれら全てが克服され、安全・安心な市であることを皆様とともに祈念したいと思います。ともに頑張りましょう。幸せな生活を求めて。 (山田忠利)

傍聴から はじめませんか

どなたでも傍聴できます
市本庁舎4階へお越しください

令和5年 第1回定例会は
3月2日からの予定
開会は10時です
傍聴席の定員は33名

平川市議会広報特別委員会

委員長 山谷 洋 朗
副委員長 工藤 秀 一
委員 石田 隆 芳
工藤 貴 弘
山田 忠 利
原 田 淳

請願・陳情は平日の
午後5時までにご提出願います。

お問合せは
議会事務局へ

提出方法はこちらから▶

☎0172-55-5792
(事務局直通)

